

# 第 414 回生命科学セミナーのお知らせ

下記の通り生命科学セミナー（統合生命科学研究科セミナー）が開催されますので、教員・院生・学生を問わず、多数ご参加下さい。

## 記

日時： 2020年12月18日(金) 18:00~19:00

場所： 広島大学 総合科学部 第一会議室

演題： CaM キナーゼ  $\delta$  の胚発生への寄与と  
アイソフォーム特異的な活性調節メカニズム

演者： 秋月 一駿 氏

(広島大学・統合生命科学研究科・助教)

### 〈 講演要旨 〉

脊椎動物の胚発生過程では時間・空間的に決められたルールに従って器官形成されるが、この過程もプロテインキナーゼによるタンパク質のリン酸化を介した細胞内情報伝達により巧妙に制御されている。我々はゼブラフィッシュを用いた解析から、初期発生で重要な鍵を握るキナーゼとして  $\text{Ca}^{2+}$ /カルモジュリン依存性プロテインキナーゼ  $\delta$  (CaMKI $\delta$ ) を同定した。

CaMKI は  $\text{Ca}^{2+}$  シグナリングで機能する Ser/Thr キナーゼであり、 $\text{Ca}^{2+}$ /カルモジュリンの結合と上流の CaMK キナーゼ (CaMKK) による Thr 残基のリン酸化を経て強く活性化される。CaMKI は重要なシグナル因子であることが考えられるが、同じ多機能性 CaMK である CaMKII と比較して報告例が非常に少なく、未だ不明な点の多いキナーゼである。

本講演では、CaMKI $\delta$  に関する一連の研究から明らかになった本酵素の新規生理機能と  $\delta$  アイソフォームに特異的な活性制御機構を紹介する。

責任者 統合生命科学研究科・石田敦彦 (内線 6528)

主催者 統合生命科学研究科・清水典明 (内線 6528)

(注) 本セミナーは、統合生命科学研究科セミナーとして、プログラム共同セミナーの対象です。

(注) このセミナーは5研究科共同セミナーの一環として開催されます。

(注) このセミナーは総合科学演習または研究演習の一部として認められています。